1 竹細工体験

11/4 ± 10:00-12:00

講師:佐々木智子

喜多方市地域おこし協力隊員

雄国地区の人々は、江戸時代の初めか ら根曲り竹をナタだけで加工し編み上 げ、日常生活で使うざるやかごなどの 用具を作っていました。それらの技術 を伝えようと取り組みがされています。 ヒゲ(竹ひご)を四ツ目編みし、重ね て結び差し込み作る「竹かご四海波: しかいなみ」を体験します。※写真左



2 ほうきつくり体験

11/4± 13:30-15:30

講師:宮原克人

筑波大学准教授

農閑工芸としてかつては盛んに行われ ていたほうき作りでしたが、時代とと もに失われつつあります。そんなほう きに焦点を当て、会津で育てたほうき 草を材料に、ほうき作りに挑戦します。



❸ 拭き漆体験

11/5 □ 10:00-12:00

講師:宮原克人 原忠信

> ソ-シャルデザイナ-筑波大学准教授 筑波大学准教授

会津漆器は会津地方に伝わる伝統工芸 です。拭き漆は手軽な技法ですが、繰 り返し刷り込むことで美しい艶と透け た木目の器ができ上がります。漆器と の新しい関わり方を提案する「Back to japan」の活動紹介と漆器でコーヒーを 飲む体験も合わせて実施します。



※生漆を使用します。

お問合せ先

キタ美実行委員会 事務局

TEL:0241-23-5188 (つきとおひさま内) MAIL: contact@kitabi.jp

ボランティアスタッフ、参加者募集!

各ワークショップ、座談会への参加者、 当日に運営のお手伝いをしていただけるボランティアを募集して います。問合せは、電話またはメールにてご連絡ください。



特別協力 駅前マルシェ

11/4 ± 10:00-15:00

場所: JA 石蔵(JR 喜多方駅前)

JA 石倉前に1日限りのマルシェが登場! パンやおむすびなどの軽食を食べたり、 ゆったりとコーヒーを飲んだり、蔵での展示見学や ワークショップの合間にどうぞご利用ください!

Nichi nichi coffee (珈琲)、あいづ素材 cafe めごめご (焼菓子) つきとおひさま(パンと芋煮)、笑むすび(おにぎり)





これからの学びかた

喜多方 アート×教育

近年、喜多方ではアーティストと地域住民とで協同したアートプログラムが多数行なわれ、歴史・文化の再発 見やそれらをベースとした新しい試みがされてきました。その中で、多くの大学(愛知県立芸術大学、上越教育 大学、筑波大学、東北芸術工科大学、新潟大学、福島大学、法政大学)が教育実践の場として喜多方の潜在力に 着目、長期にわたる喜多方との関わりを継続しています。

この地を訪れる学生たちにとって、喜多方は大学や専門分野を超えた共通の学び場と言えます。大学生と喜多 方の中高生が交流する場面もこれまでに生まれており、彼ら、彼女たちにとって、その経験は大きな財産になっ ています。

喜多方を学び場としてきたアートプロジェクトの中から、3つのゼミ「法政大学 稲垣ゼミ (国際文化学部表象 文化コース)」、「筑波大学 宮原ゼミ (芸術専門学群 クラフト領域)」、「筑波大学 原ゼミ (芸術専門学群 ビジュア ルデザイン領域)」による活動を紹介し、地域住民との交流を通して新たな可能性を探ります。

<u>喜多方の魅力の1つである「蔵」を舞台に、喜多方の文化に触れる3つの体験ワークショップ、蔵空間を使っ</u> た特別インスタレーション作品の展示などを3日間に渡り実施します。11/4(土)には1日限りの駅前マルシェも 登場します!

Project

展示: 11月4日 10:00-15:30、11月5日 10:00-12:00 @JA 石蔵 報告会: 11月4日 16:30-17:30 @ 北方風土館

高郷プロジェクト

法政大学国際文化学部 表象文化コース 稲垣ゼミ

喜多方の街場とは対照的な森と川のエリア「高郷」 を舞台に森の地域の「人」に焦点をあて、リサー チを通して得た成果を地域の財産として形にし ていくプログラム。森のはこ舟アートプロジェク トの中で、2014~2016 にかけて実施され、2017 年は独自に活動を継続。2018年にこれまでのリ サーチをまとめる企画を実施予定。喜多方の高校 生とコラボしての企画も多数実施されてきた。



稲垣立男

法政大学国際文化学部教授

共同作業を通した地域や他者とのコラボレー ションによるアートプロジェクトを国内外で実 施している。アーティストインレジデンスやワー クショップ、講演の機会も多い。

back to japan

筑波大学芸術専門学群 ビジュアルデザイン領域 原ゼミ

人は自然の一部であり、自然に還ることに生活の 豊かさがあると考え、そのヒントの塊として、木 と漆でできた器・漆器をコンセプトメイキング。 「漆器を片手に、森へ還ろう。」をキーワードに、 漆の器を楽しみ、自然に還る試みを提案。喜多方・ 夢・アートプロジェクトの中で、2014~2016 に かけて実施、2017 年実施の自主企画「樹皮の採 集WS」には喜多方市内の中学生も参加。



原忠信

ソーシャルデザイナー 筑波大学准教授

米国と日本にて、Apple、Coca-Cola、PIXER などのブラ ンド構築プロジェクトに携わる。近年は自作の竈を自 転車で運びご飯を炊く「竈プロジェクト」や、漆器を雪 山で使う「back to japan.」など、体験をブランドエク イティの形成に結びつける方法について研究している。

地の食・地の器/ 旅をする漆の器 / かしだしっき

筑波大学芸術専門学群 クラフト領域 宮原ゼミ

喜多方の自然を背景とした「食」の魅力を引きだす 提案「地の食・地の器」(2013)では蔵に「食のクリ エイティブ」を表現。「旅をする漆の器 (2014)」「か しだ漆器 (2015~2016)」では、伝統工芸の作り手と のコラボも実現。作成した漆器を貸し出す仕組み作 りにも着手し、様々なシーンで、器が料理に華を添 えてきた。大学での授業の一環として「ほうきをつ くろう」プロジェクトを進行中で、喜多方でも活動



宮原克人

筑波大学准教授

堅実な漆の技術による漆器の他、公共スペース での作品にも取り組む。会津・漆の芸術祭では 第1回・第3回に参加。その場の魅力を引き出 し空間と作品が融合するインスタレーションが 高い評価を得た。

Schedule

11月3日 金祝 11月5日® 11月4日 金 14:00 17:00 16:30 17:45 19:15 10:00 12:00 10:00 13:30 12:00 12:00 ワ展し示 ク () シ JA

Pick up

11/3金・祝 @ つきとおひさま 喜多方市字寺町南 5006

座談会

17:00-18:00

喜多方に訪れている学生と、住んでいる学 生とで「喜多方」をテーマに意見を交換す るお話し会です。

参加費:無料※要申込

参加学生大募集!!

11/4±

フォーラム 17:45-19:00

「アート」と「教育」をテーマに、これか ら喜多方でできることを探る機会としま 参加費:無料 ※申込不要

登增者(予定):

稻垣立男、原忠信、宮原克人、 金親丈史 (IORI 倶楽部)、

蛭川靖弘(NPO まちづくり喜多方代表理事)

@ 北方風土館 昭和蔵

交流会

19:15-20:30

学生、アーティスト、地域住民を交えて の懇親会。喜多方の食材で作られた料理 を漆の器に盛り付けて会食します。

参加費:

2000円 (お料理代)+ドリンク代 ※要申込

Special @ JA 石蔵 喜多方市町田下 8243-2

蔵インスタレーション 「記憶の音」

11月4日(土) 10:00-15:30 11月5日(日)10:00-12:00

蔵空間を使い、喜多方の過去、現在、そし てこれからを音で表現したアート作品を特 別展示します。



大岡真一郎

(ICHI) 電子音楽家。コンピューターとピアノを用い た楽曲制作スタイルで先端テクノロジーや地域文化 のコラボレーション、広告メディアへの楽曲提供

喜多方米 おむすびの振る舞い 200個 //

11月4日(土) 10:00-なくなるまで

OMUSUBI で地球をむすぶ!「笑むすび∞」 協力企画。大学生とコラボして作った新米 のおむすびを 200 個限定で振る舞います!

笑むすび∞ 山田みき

喜多方の米農家出身。「OMUSUBI で地球をむすぶ」をテーマに、お むすびで人と笑をむすんでます。



ワークショップ 「ラジオ体操第3」

11月5日(日)11:00-12:30

法政大学国際文化学部表象文化コース稲垣 ゼミによるワークショップ「ラジオ体操第 3」は、日本人にはお馴染みのラジオ体操 の三番目の体操をワークショップを通じて 考案しようというものです。稲垣ゼミでは 今年、タイとイタリアでラジオ体操に関す るワークショップを開催しており、それら に続く企画となります。 参加者募集!!

Information

JA 石蔵 (JR 喜多方駅前)



昭和初期に建てられた歴史ある建物。元々は米 倉庫として使われていました。「漆の芸術祭」 ロジェクトでの活用実績もあり、今後の展開が 期待されています。

大和川洒蔵 北方風十館 昭和蔵



昭和 4 年に建てられた酒蔵。現在は各種 イベントに使われるホールとして、コン サートや展覧会、フォーラムなど幅広く 使われています。